

2023年8月1日

## 推薦状

宮川 涼 氏は、1999年4月から2002年3月まで、私が所属します早稲田大学大学院文学研究科修士課程哲学専攻に在籍し、その後、2002年4月から2005年3月まで、早稲田大学大学院文学研究科博士課程哲学専攻に在籍し研究活動を行っていました。

宮川氏は、学部学生時代は文学系の研究に取り組んでいましたが、哲学研究の重要性に目覚め、大学院での研究を志しました。当初は、20世紀の哲学者、マルティン・ハイデガーの哲学を研究しましたが、やがて、18世紀の哲学者、イマヌエル・カントの実践哲学に関心を移し、私が研究指導を担当することになりました。

宮川氏の問題関心は、カント晩年の論文、「人間愛に基づいて嘘をつく権利はあるか」に集中しました。この論文はカント哲学の中でも論争的なものであり、多くの先行研究があるものです。それらを検討しつつ修士論文「カントと『嘘』論文」を仕上げ、良好な評価を得て修士号を取得しました。

この論文の執筆過程では、カントの難解な文章に取り組む粘り強さを宮川氏がもっていることのみならず、高度な英語読解力とドイツ語読解力を十分にもっていることもまた証明されました。さらには、同氏の積極的な研究姿勢が周囲の大学院生により影響を与えたことも印象に残っています。

宮川氏の積極性は、貴社にご採用いただけましたなら、その才能を磨き資質を発揮することに資し、活躍してくれるものと信じます。

ご高配を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

東京都新宿区戸山 1-24-1

早稲田大学文学学術院

教授

御子柴 善之 

<幣職の略歴>

2001年から04年 早稲田大学専任講師

2004年から09年 早稲田大学助教授

(2007年より准教授)

2009年から 早稲田大学文学学術  
院教授